

# ネットを介した私の生活

税理士 中野寛也

今回の記事を書くことになったきっかけ

私が本格的にインターネットの世界に親しむようになったのは、2002年あたりからだと思います。それ以前もちょこちょこ利用はしていましたが、せいぜい旧友探し程度で終わっていました。

色々と検索をかけてみると、それこそ生々しい情報が瞬時に手に入るインターネットは驚きの連続でした。特に驚いたのが、無記名で自由に書き込める掲示板の登場でした。ここでは罵詈雑言の限りが尽くされていて、今でもそうなのでしようが、それでも受験生が本試験に対して本音で語る掲示板があり、情報交換するのみならず、実際に本試験を的中させることがあり、どの誰だか分かりませんが、本当に感心したものです。インターネットの世界の凄さを痛感したものでした。

今では次のような方はいないと思いますが、その掲示板を通じて知り合ったのですが、私が利用していない専門学校の問題集を無料で丸々くださり、本当に親切心に頭が下がりました。

感謝の至りです。そのようなことがあり、インターネットに対する好感度がますます上がっていったものです。

そうこうするうちに、ソーシャルネットワーキングサービス(以下SNS)なるものが登場しました。賛否両論はともかく、私個人は非常にわくわくしましたね。知人に紹介してもらった、恐る恐る日記を書き始めました。いったい、どういう風に世界が広がるのかな、という好奇心ですね。仕事に関するコミュニケーションにも積極的に参加したのですが、活発なのは趣味や娯楽性の高いコミュニケーションですね。次第に私の興味も娯楽性の高いものに移行していききました。そうすると、とにかく日記が書けること書けること！人間、没頭できるものには無条件で取り組めるものなのだ、と我ながら感心しました。

しかし、仕事に関連することも積極的に書きたい。逡巡しているうちに、益田あゆみ先生のページにたどり着きました。その独特の書き込みには、個性は言うに及ばず、何やら信念らしきものも垣間見えます。そのころ、そのSNSのアクセス数が異様に減少してきていて、益田先生の書き込みの主力

がアメブロで、そこには同業者が大勢いるようなので、私も参加することに決めました。

確か去年の3月ころでしょうか。ブログサーミットまで、もう一週間で切っていました。開催場所は千葉の浦安で、自宅から近かったこともあり、とにかく参加することにしました。ブログサーミットでは、全国各地から税理士が集まりました。それも若手と呼ばれる人たちばかりで、年齢層の高いこの業界では、非常に稀有な集まりだと思います。刺激的で面白かったです。そこで知り合った大林茂樹先生の紹介で今回の記事を書くきっかけをいただきました。

## インターネットの世界

インターネットは、人と人を繋ぐツールだと思っています。このたびの良いきっかけもまさにインターネットのおかげです。しかし、見知らぬ人たちが集結する場でもあります。そういう場所では、疑心暗鬼が付きまとうものです。これはある意味当然だと思います。やはり、人と人というのは、対面しなければいけない、そしてそこで意見を交わしたり、会話をしなければ

いけない、というのが私のスタンスです。

それだけではなく、改めて「信用」というものを考えさせられたのも、インターネットがきっかけです。ただ単なる一個人では、どうしても信用性に欠けます。そこに税理士という肩書きが加わることが、どれほど信用性を高めることか、つくづく痛感しました。そして、それなりに振舞わなければいけないのだな、とも改めて感じました。インターネットの世界は自由ですが、自由には責任が伴うのです。民主主義の根幹がここには息づいているのだな、とも思いました。

## ブログ

私がインターネットの世界で、自己主張できる場所です。他人のブログにコメントという形で意思表示することはありますが、それは他人の土俵で語っているに過ぎません。自分を表現できる場所があるというのは、とても素晴らしいことです。ここに一番に惹かれますね。しかし、個人情報問題がありますから、日常の業務を事細かに描写することは出来ません。かと言って、私の場合、税法を書き記すという手法には面白みを感じませんでした。他の先生がきちんと書いているし、

## 中野先生ブログ



中野寛也 (なかの・かんや)

税理士・ファイナンシャル・プランナー (AFP)

事務所：東京都港区芝大門

自己紹介：昨年から本格的に交流会に参加するようになりました。今年は昨年出来た縁を更に深めていくよう努力します。ひょんなことから母校である明治大学のOBの方々(主に中小企業の社長)と交流が深くなり、見捨てていた母校に救われるとは、何とも不思議な感慨を抱いています。また、在日外国人に日本語を教えるボランティアを行っています。

ここはいつそのこと税務に関することに触れるのはやめよう、と決心しました。したがって、所感や社会事象がテーマの中心となっています。こうなると、本場に「表現」の場所ですよ。恥ずかしいこともたくさん書いてあります(笑)。しかし、それが人間じゃないかと、私は強く思っているのです。そこから得られることって、ものすごく多いな、と感じるし、ものすごく深いような気がしますね。

最近では、税法に関することも書き始めています。当初は前述のように書かない方針でしたが、税法自体非常に人間くさいところがありますから、是非書きたいな、という意欲が高まってしまったんですね。こういう流れであれば、自分的にはOKなので、進化のひとつとして捉えています。

## 交流

インターネットを使うようになって、何が大きく変わったか、というところ、交流の幅が広がったことでしょうか。例えば、今回のこの記事についても、インターネットがなかったら、果たしてご縁があったかどうか。そして、ブローガーサミットという税理士の集まり

の中でも、あれだけ若手が一堂に介した会に参加することが出来たかどうか。そういう意味では、非常に感謝しています。

しかし、しばらく利用してみて思ったのが、「自分に軸がなければいけない」ということでした。ぶれてはいけない、ということなんです。インターネットの情報量は凄いものです。何か悩みを抱えていれば、それに対する回答が無数に出てきます。そこで、うろたえてはいけません。あくまでも主人公は自分でなければいけません。

そして、インターネットは世界と繋がるような広範なものなのですが、大切にしなければいけない人間関係は、実は非常に身近なものであることを痛感させてくれたのもインターネットです。自分の内面をよく見る、内省する、という習慣が出来たのはインターネットのおかげというのも変な話かもしれませんが。

## これからの展望

インターネットにより交流の幅は広がったのですが、実はそれ以上にネットを介さない交流の方が広がったのがここ最近の状況です。なぜそうなった

のか今考えてみると、積極的に人と交流しよう、しよう、とする行動力のためだと思っています。始めはインターネットを使って交流を深めていくことが目的だったのですが、それとは逆の方向に進むとは、不思議なものです。

また、国際化の流れをダイレクトに感じることも出来るのも、インターネットの特徴で、思いっきり海外の記事が無料で読めてしまうのは凄いな、また中国や他の国の方々が積極的に日本語を使って現地からブログを書いているのを読むのも面白いな、と知っている次第で、交流会で知り合った中国人や韓国人の方々とそれをネタにして話をするのも非常に役立ちますね。上海の住宅事情とか、生々しく教えてくれますしね。日経とリンクするところが凄いです。まあ、海外とのやり取りが仕事になるくらいものには至っていませんが、みなさん日本で優秀に働いていた、留学したりしている方々ばかりだから、きつと見返りがあるのかな、と(笑)。別に恩に着せるようなことしているわけじゃないんですけどね(笑)。